

岩手・宮城内陸
地震からの復興

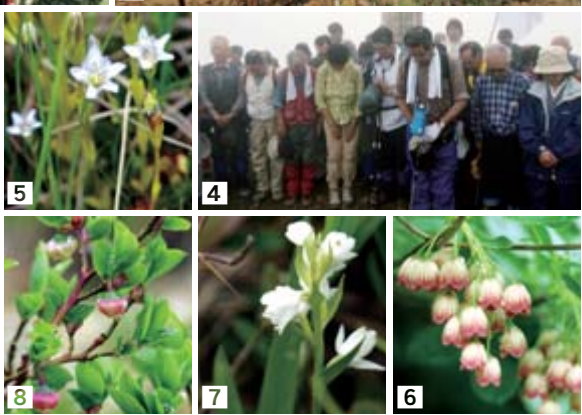
この2年

国道342号の復旧喜び山頂へ 完全復興への誓いも新たに万歳

市内蔵美町の国道342号真湯―須川間の再開通を記念した栗駒山（1627[㍎]）登山が6月26、27の両日、開催されました。参加者ら約80人は、新緑やかれんに咲く高山植物を楽しみ、雪渓を渡る風に疲れを癒やされながら、「栗駒山の夏」を満喫していました。



- 1 国道342号の再開通を記念し、万歳三唱する参加者
- 2 雪渓を渡る涼しい風を受けながら山頂を目指します
- 3 分岐点での小休止後、再スタート。目指す山頂はもうすぐ
- 4 行方不明者が1日も早く家族のもとに帰れるよう参加者全員で祈った
- 5 木道の傍らで咲くタテヤマリンドウ
- 6 露にぬれたサラサドウダン
- 7 オノエランも美しく咲き、登山者の疲れを癒します
- 8 ナンブクロウスゴもたくさんのかわいらしい花を咲かせています



国道342号再開通記念登山は、市内外からの一般参加者72人、市や県などの関係者を合わせて80人余りが参加。

参加者らは26日、2台のバスに分乗し、旧祭時大橋や真湯―須川間の災害復旧現場を見学。宿では、菊池恭二県一関土木セクター所長が「国道342号災害復旧の概要」と題して講演。参加者らは災害復旧の現状について理解を深めました。

前夜からの雨も朝には上がり、翌27日は、多少霧がかかるものの「暑すぎず、寒すぎず」の登山

日和。一行は、そこかしこに咲くかれんな高山植物を愛でながら、雪渓の残る登山道を踏みしめ山頂を目指しました。

山頂で勝部市長は、「栗原市の行方不明者が1日も早く家族のもとに帰れるように」と呼び掛け、全員で祈りました。登頂と再開通を祝って万歳三唱を行いました。

神奈川県から参加した澤野則子さんは、「この山は19年に紅葉を楽しみに登って以来、温泉も花も楽しめて最高です」と語り、大自然を満喫したようでした。

情報伝達訓練を実施

岩手・宮城内陸地震からちょうど2年が経過した6月14日、市は岩手県や国、岩手県建設業協会一関支部、同千厩支部などと連携し、地震発生を想定した情報伝達訓練を行いました。

訓練は宮城県沖を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、市内で震度6弱および5強を記録したという想定で開始。市災害対策本部が岩手県建設業協会一関支部および同千厩支部に災害協定に基づく出動を要請し、各地域の被災状況の把握や



各機関との協力体制を確認した情報伝達訓練

関係機関との情報伝達の確認を行いました。市内全域を対象として、他の機関と連携した情報伝達訓練は初めてです。

涌津と
室根西

ソフトボールで全国へ



上 涌津スポ少の選手、関係者が勝部市長に出場報告
下 県大会終了後、喜びに沸く室根西スポ少選手たち

花泉町の涌津スポーツ少年団と室根町の室根西スポーツ少年団は、8月7日から花巻市で行われる第24回全日本小学生男女ソフトボール大会への出場が決まりました。

栗原美優主将(涌津小6年)は「初めての全国大会で1勝できるように頑張ります」と誓い、栗原主将と双子でバッテリーを組む栗原優由投手は「いいピッチングができるよう頑張る」と力強く述べました。岩淵功監督は「県大会で無失策のピッチャーを中心とした守りのチーム。全国では熱い戦いをしたい」と決意を語りました。勝部市長は「夢の実現のため頑張ってください」と激励しました。



勝部市長(左から2人目)に受賞を報告する勝部欣一下内野自治会長(右から2人目)ら関係者

下内野
自治会

環境大臣特別賞を受賞

岐阜県関市で開催された「第30回全国豊かな海づくり大会」で、ふ長良川大会の席上、大東町の下内野自治会(勝部欣一会長、42戸)が環境大臣特別賞を受賞。6月16日に市役所本庁を訪れ、勝部市長に受賞を報告しました。砂鉄川の清流化と地域の活性化を目的に平成6年から毎年「全国石磨き大会を開催している同会。清流にしか生息しないという「かじか」の放流やその生

息調査活動、日本大学との交流など河川の環境保全の取り組みが評価されたものです。受賞報告には、勝部会長ら役員3人が訪れました。勝部会長は「河川の上流の清流化が海の浄化につながる」とことを認識するいい機会となった」と受賞の喜びを語っていました。また勝部市長は「大変素晴らしい活動を継続されており、今後も充実していったほしい」と期待していました。

8月8日には、今年で17回目を迎える石磨き大会が開催される予定です。

室根西スポ少は平成21年4月に上折壁、釘子、津谷川の3校が統合してできた新生チーム。7月2日、選手や関係者が市役所本庁を訪れました。

初めての全国大会出場に、鈴木茜主将(室根西小6年)と藤村毅監督は「初めての全国大会ですが一戦一戦大事にしながら勝ち進んでいきたい」「相手に点をやらないソフトで臨みたい」と力強く誓いました。

勝部市長は「暑い時期の大会なので体調に気を配り頑張ってください。楽しみにしています」と期待を寄せていました。

100歳おめでとうございます



野村和さん(桜木町) 6月20日



菊地マサコさん(大東町) 6月28日

▶一関ナーシングホームで誕生日を迎え、祝福の言葉に「ありがとう」ございます」と応じていました。

▶やまぶき荘で親族や施設関係者などに祝福され、「ありがとうございます」と元気に応じていました。